

# 中央スチール 建築構造用高強度厚板

## 在庫サイズ拡充

60板厚55、  
60リ追加

中部地区の有力厚板板断業者、中央スチール(岐阜県大野町、社長・森田勝氏)は、小ロット対応の強化鋼材取巻システムを導入。来自ら製造標準品(MC)・高強度鋼の在庫ラインアップに板厚55、60を追加し在庫サイズ拡充。取巻システムの同社、図。

同社はユーザーのレドに向けたM1めるケースが増えたことよりMC鋼の発時鉄管アップがベースPC鋼の切板加工を求るとに対応し、昨年4月、在庫を開始。これまで

は板厚45、50の小ロット生産能力が進むにつれ、またため、新たに厚板加工するに決めた。8×20を在庫しい小口ながらも同物の切55、60、同8×20を。今後、同社のホームページ(<http://www.csteel.co.jp/>)上で在庫ラインアップに追加。在庫サイズ拡充。各種加工を掛ける。各

小ロット・短納期要求に対応できるシステムビルし、加工システムなどの結果効果を見込む。同社は本市場を加工現場に建築、農機、製糖機等に月500ト、ペースで断加工を掛ける。加工設備は75kW切断機(出力300A)、4KWレーザー加工機、CNC切断機等、基本、最近は切板の再加工価値化に注力しており、閉先、穴あけ、ショット加工にも進出して



森田勝氏